

さふらんノ栽培

刈米達夫

T. KARIYONE: Cultivation of *Crocus*

さふらんハ我國ニ栽培サレル薬草中最モ重要ナモノノーデアッテ年產額十萬圓内外、昭和7年ノ產額ハ次表ノ通りデアル。

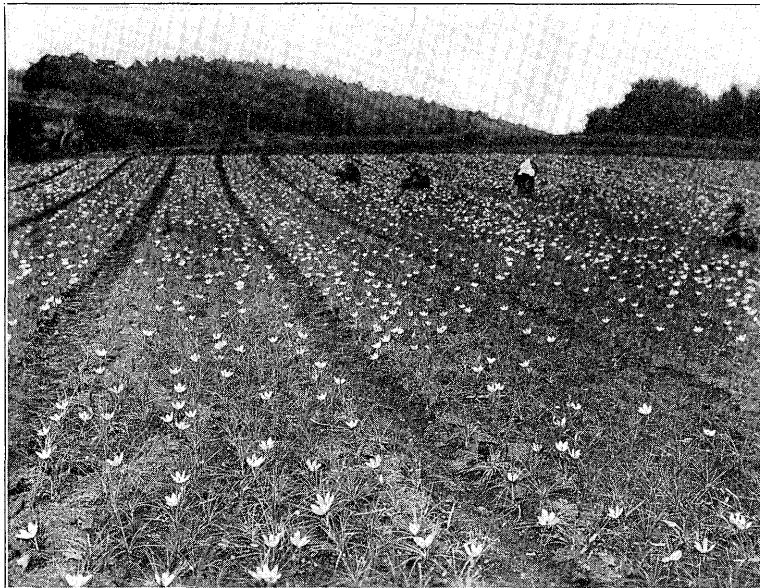
| 縣 | 數量(匁) | 價格(圓) | 反別(反) |
|------|--------|-------|-------|
| 廣島 | 69000 | 39419 | 731 |
| 兵庫 | 50579 | 15895 | 106 |
| 佐賀 | 29320 | 6535 | 103 |
| 岡山 | 23420 | 8366 | 41 |
| 全國總計 | 145278 | 83037 | 1096 |

さふらんハ9月ニ球根ヲ植付ケ 11月開花時ニ雌蕊ヲ採收シ乾燥シテ藥用ニ供スルモノデアッテ、收穫ニ老幼者ノ勞力ヲ利用シ得ルコト、桑其他ノ間作ニ適スルコト等ハ栽培上有利ナ點デアル。其缺點トスル處ハ相場ノ高低甚ダシキコト及ビ病害ニ犯サレ易イコトデアル。然シ乍ラ其ノ栽培調製ニ習熟スレバカナリ確實有利ナ作物デアル。

現在本邦ノさふらん主產地ハ前表ニ見ラレル通リ廣島縣デアルガ今カラ10年前ハ兵庫縣下ガ最モ盛デ同縣ノ年產額三十萬圓ニ及ンダコトモアル。又其前今カラ15年前マデハ神奈川縣ガ主產地デアッタ。斯ノ如ク產地ガ移動スルノハさふらんヲ同一個處ニ連作スルトキハさふらん特有ノ腐敗病が發生スルタメアッテ一度之ニ侵サレルト球根腐敗シ未ダ之ヲ救ヒ或ハ豫防スル確實ナ方法ガ無イ。從テさふらんノ產地ハ今マデ7~10年ヲ週期トシテ移動シテ居ル譯デアル。コノ腐敗病ハ *Bacillus Croci* MIZUSAWA トイフ菌ノ寄生ニヨルモノデアッテ此ノ菌ハ神奈川縣農事試驗場技師水澤芳次郎氏ノ發見ニカヽル。(神奈川縣立農事試驗場成績、大正10年4月)

さふらんノ栽培ハ歐洲デハ數年間定植ノマヽデ開花セシメルヲ普通トスルガ本邦デハ從來之ヲ冬作物トシ5月ニハ一旦根ヲ堀リ上ゲテ居ル。是レ土地利用上並ニ根球ノ腐朽ヲ少ナカラシムル様デアルガ粕壁ノ藥用植物圃場デ若林氏ノ實驗ニヨレバ2年定植ハ甚ダ良イ成績ヲ擧ゲテ居ル。同一種球ヲ以テ植付初年

ノモノト定植2年月ノモノトヲ比較スルト、定植區ハ約10日早ク開花シ收穫量モ2倍以上ニ達スル。開花期ノ早イコトハ實際栽培上ニ於テ初年區ト併植シテ收穫ノ勞力ヲ均分シ得ルノ利益ガアル。又定植法ニ於テモ大豆、小豆等ノ夏作ヲ植エルニ毫モ差支無イ。只病害ニ因ル缺株率ノ多イコトハ免レヌ所デアル。



第1圖 さふらん畑（神奈川縣足柄上郡中井村）

さふらんノ植付ハ通常9月中～下旬株間約10cm×10cm、深サ約10cmトスル。球根ノ重量ハナルベク15g以上ノモノヲ選ブ。此程度ノ球根デアレバ大抵3花ヲ生ジ、球根ガ大ナレバ大ナル程花ヲ多ク生ジ從テ收穫量モ多イ。栽培者ハ球根ノ重量1匁ヲ増ス毎ニ1花ヲ増スト言ッテ居ルガ良ク言ッタモノデ大體其位ノ割合デアル。開花ハ大抵11月中ノ約1ヶ月間ニ亘ルガ最盛期ハ10日位ノ間デ大部分ハコノ間ニ開花スルカラ收穫ハ甚ダ忙ガシイ。さふらんノ製品ハ色澤ヲ最モ尊ブ。從テ花粉ノ附着スルコトヲ忌ム故ニ最良ノ方法ハ開花初日ノ花カラ現場デ「ピンセット」ヲ用ヒ花柱ノ中邊カラ採ルノデアルガ稍々大面積ノ栽培ニナルト現場ノ採收ハ困難デ、通常朝花ヲ摘ミ籠ニ入レテ持チ歸リ屋内デ摘蕊ヲ行フ（第2圖）。栽培者ノ談ニヨルト雌蕊ハ開花後モ生長ヲ續ケルカラ開花初日ノ花ヲ採ルノハ損デ開花翌日ニ採ル方ガ收量ガ多イソウデ、コレモ尤モナコトデアル。摘蕊ハ花柱ノ下部淡色ノ部分ヲ除キ中邊以上ノ

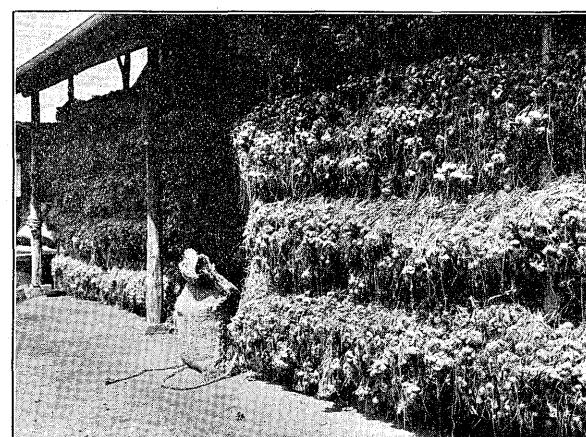
濃色ノ部分ノミヲ採ル。之ヲ紙上ニ薄クヒロガ炭火ヲ用ヒ $50\sim60^{\circ}$ デナルベク速ニ乾燥スル。第2圖ハ養蠶籠ヲ利用シ之ヲ6段ニ載セル簡単ナ乾燥器ヲ用ヒテ居ル。乾燥後少時室内ニ放置シ雌蕊ガ折レヌ程度ニ濕氣ヲ戻シテカラ罐又ハ瓶ニ入レル、コレダケノ手數ヲ經テ1反歩カラノ收得量ハ $1200\sim1500\text{ g}$ 即チ $2\sim2.5$ 斤デアル。其1斤ノ賣値ハ現在54圓、昨冬62圓、一昨冬20圓ト



第2圖 さぶらんノ調製

イフ様ニ非常ニ變動ガ多イ。小生ノ知ル範圍ニ於テハ最高値ハ大正6年ノ120圓低値ハ一昨年ノ12圓トイフ値段デアッタ。

花ガ咲キ終ルト葉ハ急ニ延ビテ來ル。寒中ニ追肥ヲ充分ニ與ヘテ種球ノ増殖ヲ促スト5月頃迄ニ前年植付ケタ種球ノ3倍位ノ數ニナッテ居ル。種球ヲ淺ク植ヘ過ギルト此際、小球ヲ多數生ジ不得策デアル。斯シテ5月中旬葉ガ枯レカヽル頃球根ヲ掘リ上ゲ土ヲ拂ヒ數株ヲ葉デ縛シ陰處ニ秋マデ吊シテ置ク(第3圖)。10g以下ノ小球ハ種球トシテ不適當デアルカラ更ニ1年植ヘ置キ肥大サセルカ或ハ通常ハ廢棄セラレル。



第3圖 さぶらん球ノ貯藏

粕壁圃場デ之カラ澱粉ヲ試製シタガ良質ノ澱粉ガ得ラレル。此ノ澱粉ハ球形デ直徑主トシテ $10\sim15\mu$ デ非常ニヨク粒ガソロッテ居ル。

さぶらんノ品質ハ其色澤ト香氣ヲ主トスル。其色ハ Crocin トイフ「カロチ

ノイド」色素デアル。生薬ハ紅色ヲ呈スルガ水浸液ヲ稀釋スルト純黃色ヲ呈シ重クロム酸加里水溶液ノ色トヨク似テ居ル。日本藥局方デハ生薬ノ15000倍ノ水浸液ノ色ガ重クロム酸加里0.05%水溶液ヨリモ濃色ヲ呈スペキコトヲ規定シテ居ル。さふらんノ香氣ハ Pierocrocin トイフ配糖體ガ加水分解シテ芳香成分ヲ生ズルニ因ル。故ニさふらんハ新鮮品ハ香氣薄ク時日ヲ経過スルニ従ヒ香氣ヲ生ズル。アマリ古クナルト又香氣ガ失セル。我國ノ需要家方面(賣藥製造)デ「スペイン」産さふらんガ香氣ガ良ク到底日本産ハ及バスト言ッテ居ル人モアルガ、コレハ歐洲品ガ印度洋ヲ經テ日本ニ來ルマデニ相當ノ時日ヲ経過スル爲ニ適當ニ釀酵シテ香氣ヲ生ズルノデアッテ日本產ノ市場品ハコレニ較ベルト新鮮デアル爲ニ香氣ガ薄イ様ニ考ヘラレテ居ルノデアルマイカト國產さふらんノ爲ニ一言辯ジテ置ク。

げんのしょうこニ就テ

邦產藥用植物生產狀況調査（其四）

津村研究所 木村 雄四郎

Yushiro KIMURA: Ueber die japanische Arznei-drogen, ihr Anbau,
ihr Einsammlung und Zubereitung etc. (IV):

Ueber *Geranium nepalense* SWEET.

げんのしょうこ *Geranium nepalense* SWEET. (*G. Thunbergii* SIEB. ET ZUCC.)
ハ廣ク我邦各地ニ野生シ古來民間ニ於テ所謂痢病ノ妙藥ニ供サレテキルコトハ
其げんのしょうこ（現ノ證據）ノ名稱ニ微シテモ明カデアルガ、其他藥効ニ由
來スル方言モ亦頗ル多ク我邦ノ民間藥トシテ如何ニ交渉多キカヲ知ルコトガ出
來ヤウ。

今、東京女子藥學専門學校ノ調査ニナル 鄕土ノ民間藥調査表カラげんのし
うこニ關スル方言ヲ摘記スルト次ノヤウデアル。

先づ其藥効ニ由來スル方言ヲ見ルニりびゅうさう（山口縣厚狭町、靜岡縣三
島町）、りびゅうぐさ（沼津市、群馬縣碓冰郡秋間村）、せきりぐさ（石川縣津
幡町）、しょきぐさ（山梨縣西八代郡下部村）、ちびゅうぐさ（山梨縣中巨摩郡源
村）、ちびゅうさう（和歌山縣伊都郡山田村）、てきめんさう（長野縣伊那町）、
たちまちさう（鳥取縣倉吉町）、いしゃいらす（福井縣大野郡下庄村、長野縣伊